

圏域の将来像について

第 3 期ビジョンの策定に当たり、本ビジョンで掲げる「圏域の中長期的な将来像」について検討するもの。

1 第 2 期ビジョンの将来像

「地域の個性が輝き 自立した 八戸圏域」 ※ 第 1 期ビジョンから継承

【趣旨】

- 圏域に暮らす住民が、将来へ夢や希望を持ち、潤いのある生活を安心して営むことができる地域社会の実現を目指す。
- 従来 of 定住自立圏での取組に加え、様々な地域資源に光をあて、その潜在力を引き出し、新しい価値の創出を図る。
- これらの積み重ねにより、圏域の魅力と自立性を高め、圏域全体の一体的発展を目指す。

2 第 3 期ビジョンの将来像の考え方

- 現在の将来像の趣旨は引継ぎつつ、設定から 10 年が経過することを踏まえ、新たな将来像について検討する。
- ただし、検討の結果、将来像の変更が不要と判断された場合は、第 3 期ビジョンにおいても現在の将来像を継承する。

3 将来像の候補(検討状況)

- 第 3 期ビジョン検討部会（※）において、新たな将来像の検討を行った。
（将来像案については次項参照）
- ただし、これらの案は検討のたたき台として提示するものであり、いずれか一案をそのまま採択することを前提とするものではない。

※ 圏域の若手職員 16 名で構成され、全 3 回のワークショップにより、八戸圏域の現状分析や圏域の将来像に関する意見交換等を実施。

4 将来像の決定方法

- 将来像の検討に当たっては、首長及びビジョン懇談会構成員からの意見を踏まえて、事務局において将来像の最終案を作成する。
- 作成した事務局案は、令和 8 年度の首長会議において説明・審議のうえ、当該会議で決定する予定。

【将来像候補（第3期ビジョン検討部会における検討結果）】

案	将来像	趣旨（将来像に込めた想い）
A	100年先も暮らし豊かな八戸圏域 ～つながり合い、支え合う～	<ul style="list-style-type: none"> 市町村間、圏域内外の関係者や住民が繋がり合い連携し、圏域全体で価値創出を図る。 圏域に暮らす全ての人々が心豊かに生活できることを目指すとともに、将来にわたり住み続けたいと思われる地域になるよう、地域への愛着醸成を重視する。
B	ありのまま 住めば都さ SCRUM EIGHT（スクラムエイト） ～8つのときめき つながる New Vision～	<ul style="list-style-type: none"> 元から暮らす住民だけでなく、移住者や観光客を含めた多様な人々が地域に愛着を持ち、それぞれの価値観やライフスタイルに応じて暮らせる圏域の形成を目指す。 市町村がそれぞれの強みや魅力を尊重しつつ連携し、相互に高め合うことで、圏域全体の価値を高める。
C	地域の絆は夢限大 ∞ ～One for 8 8 for One～	<ul style="list-style-type: none"> 地域の可能性を夢（ビジョン）として広げ、住民が地域に愛着を持ち、自分らしく暮らせる圏域を目指す。 各市町村がそれぞれの魅力を活かし次世代へ継承するとともに、相互に支え合いながら、住民サービスの充実を図る。 <p>※ 八戸圏域のロゴマークを右に 90 度回転させたものを記号として配置</p>
D	みんなで創る 個性きらめく スクラム ∞（エイト）	<ul style="list-style-type: none"> 8市町村の連携を深化させるとともに、各自治体が有する個性や強みを尊重した圏域を目指す。 特定の自治体への過度な依存を避け、自治体、民間、関係団体等の多様な主体が協働することにより、圏域全体の発展を図る。 <p>※ 回転させたロゴマークを文中に組み込み「エイト」と読ませる表現</p>